

2018/03/09(金)09:00

科目名称 Course title(Japanese)	企業連携論		
科目名称(英語) Course title(English)	Project with Business Enterprises		
授業名称 Class name	企業連携論		
教員名 Instructor	榎本 のぞみ		
開講年度学期 Year/Semester	2018年度 前期		
曜日時限 Class hours	金曜1限		
開講学科 Department	経営学部		
単位 Course credit	2.0	学年 Grade	1～4学年(2年生以上が望ましい)
科目区分 Course category	一般教養科目 キャリア形成を学ぶ科目群	履修形態 Compulsory/Elective	選択
概要 Descriptions	<p>&lt;概要&gt; 業種や規模の異なる企業の経営課題に取り組む課題解決型学習。 受講生は、企業から与えられた課題について、環境、IT、農業、エネルギー、テクノロジー他、多岐にわたる分野からのアプローチを検討し、グループワークを通して、解決を見出す。 例年共通テーマが設けられ(H25年度「成長戦略」、H26年度「新規事業(または新規市場開拓)」H27年度以降はイノベーションをテーマとして課題に取り組んでいる。 今期前半は、最大規模のクラウドファンディングのプラットフォームを有するCAMPFIRE、後半は、メカニカル部品の専門商社を中核とするミスミグループ本社と連携して課題に取り組む。</p>		
目的 Objectives	<p>&lt;目的&gt; 1. 業種・規模・展開が異なる複数の企業と連携し、現実の経営課題に取り組むことで、課題解決力・価値創造力を養う 2. 実現可能性・実行可能性を追求し、タイムマネジメント、論理思考、コミュニケーション、プロジェクトマネジメント、クリエイティビティ、チームワーク、分析、情報収集などのスキルを習得する 3. 業界の現実の課題への関心に向け、学問的知識とのリンケージを促す 4. 1)自然・人間・社会を幅広く俯瞰できる能力、2)論理的・批判的思考力、3)コミュニケーション能力、4)自己管理能力、の涵養に資する</p>		
到達目標 Goals	<p>&lt;到達目標&gt; 1)ブランディング、商品開発、マーケティング、CSR他、広報、マーケティング、IR、CSR、人事、新規事業、ステークホルダーマネジメントなどの業務や組織的機能への関心が高まり、専門知識を習得するモチベーションが向上する。 2. 必要な知識・情報を組み合わせ、提案の実現可能性に向けて課題解決方法を工夫することができる。</p>		
履修上の注意 Course notes prerequisites	<p>1. 企業と連携し、チームワークを通して課題を進めるため、全出席・無遅刻を前提とする。 2. 科目の性質上、2年生以上の履修が望ましい。 3. ノートパソコンを必要とする週がある。事前に知らせるので準備すること。 4. 授業時間内で企業を訪問する場合、交通費は自費(最大往復400円1回と340円1回)。 5. 履修者30名程度を極端に超える場合は、2年生以上を優先する可能性がある。 6. アカウント設定等の関係上、履修の意思を第1週目で確認する(特に履修を取り消す場合において)。</p>		

準備学習・復習 Preparation and review	各社から提示された課題について、所定の期限内にしっかりとした提案を作り上げるために、時間外の効率的・効果的タイムマネジメント力も要求される。
成績評価方法 Performance grading policy	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業側からの評価 50%</li> <li>・授業(ディスカッション)参加度15%</li> <li>・成果物 20%</li> <li>・チームワークとチームへの貢献15%</li> </ul> 計100% <注>CAMPFIREの課題は、企画を掲載し、クラウドファンディングを経験することを評価の条件とする。
成績評価基準 Performance grading criteria	S:到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている A:到達目標を十分に達成している B:到達目標を達成している C:到達目標を最低限達成している D:到達目標を達成していない
教科書 Textbooks/Readings	特になし
参考書 Course material	随時提示
	<p>【授業計画(案)】</p> <p>※企業とともに、課題検討の後、内容は変わる可能性があるが、事授業開始時には、詳細なプログラムが用意される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入           <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業説明</li> <li>・課題説明</li> <li>・授業スケジュール</li> <li>・PBLについて</li> <li>・チーム編成</li> <li>・課題提出期限までのプランニング</li> <li>・問題・課題についての原因・仮説ブレスト</li> <li>・次回調べて発表する内容と担当者の確認</li> </ul> </li> <li>2. 課題の背景と導入 クラウドサービス「kintone」の理解、演習</li> <li>3. 現状分析と解決策構想① (問題解決メソッド)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題関連情報の分析</li> <li>・課題の本質理解</li> <li>・問題・課題解決の方策構想</li> <li>・次回までの課題・役割分担確認</li> </ul> </li> <li>4. 現状分析と解決策構想① (問題解決メソッド)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題関連情報の分析</li> <li>・課題の本質理解</li> <li>・問題・課題解決の方策構想</li> <li>・次回までの課題・役割分担確認</li> </ul> </li> <li>5. 中間発表&amp;フィードバック</li> <li>5 フィードバックに基づく再考           <ul style="list-style-type: none"> <li>・実現可能性の検討</li> <li>・軌道修正</li> <li>・発表準備</li> </ul> </li> </ol>

授業計画 Class plan	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ロジックの確認</li> <li>•次回までの課題確認</li> <li>ワーク(プレゼン資料仕上げ、kintone作りこみ)</li> </ul> <p>6. プレゼンテーション&amp;フィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•チームごとのプレゼンテーション</li> <li>•Q&amp;A</li> <li>•評価</li> <li>•今後の課題</li> </ul> <p>振り返り</p> <p>8. 企業・課題の理解(課題B)</p> <p>クラウドファンディングとは</p> <p>9. グループ編成・企画立案から終了までの流れ</p> <p>10. プロジェクトを成功させるためのテクニック</p> <p>11. 進捗状況確認</p> <p>12. 次回までの課題・役割分担確認</p> <p>11. 中間発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•チーム毎の中間発表・フィードバック</li> <li>•フィードバックに基づく再検討</li> <li>•次回までの課題確認</li> </ul> <p>12. 企画の確認と再考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•実現可能性の検討</li> <li>•軌道修正</li> <li>•次回の課題確認</li> </ul> <p>13. 成果発表と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•チームごとのプレゼンテーション</li> <li>•Q&amp;A</li> <li>•評価</li> <li>•今後の課題</li> </ul> <p>振り返り</p> <p>14. ディスカッション</p> <p>15. まとめ</p>
教職課程 Teacher-training course	
備考 Remarks	オフィスアワー: 水曜 12:50 - 14:20
9986233	